

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32013
学校名：あいの里東学校

改訂のポイント

- 「主体的で対話的な深い学び」に主眼を置いた授業づくり
- 課題探究的な学習の展開例にある6つのセルフチェックを活かした授業改善の取組の推進
- 新学習指導要領の趣旨や札幌市の教育理念を反映し、教職員全員で共有し実践できるプログラムとする

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を自ら身に着けようとする生徒 ☆意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなせる生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ○本時の目標の提示、授業の振り返りを大切にされた。さらに自ら進んで解決しようとする課題の設定	【成果】 ⇒生徒アンケート「授業中、自分でめあてをもって学習に取り組もうとしている」で1年生69.7%、2年生70.4%、3年生78.4%が肯定的な回答であった。	【課題】 ◇生徒の学ぶ意欲を高めるための方策を研修、実践、交流し教師自身のスキルを高める必要がある。校内研修会はもちろん、日々の教科内交流も充実させる。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○授業中での学び合いの時間の確保し、お互いに交流する時間の充実を図った。さらに深い学びに繋がる効果的な設問を研究した	【成果】 ⇒生徒アンケート「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」で1年生71.1%、2年生75.9%、3年生74.5%が肯定的な回答であった。	【課題】 ◇今後とも、各教科における課題探究的な学習の充実を進める。特に視覚的な効果を期待したICTの活用を充実させ、意見交流の場を設定していく。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○家庭学習の実態把握に努め、個に応じた学習意欲向上のアドバイスを行った ○毎授業で、振り返りの時間を設定した	【成果】 ⇒生徒アンケート「普段から計画を立てて勉強している」で1年生54.0%、2年生54.6%、3年生66.6%が肯定的な回答であった。	【課題】 ◇保護者からも家庭学習の定着の要望が多い。放課後や長期休業中の勉強場所の提供なども視野に入れ、よりよい方法を検討していきたい。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 『主体的・対話的で深い学び』となる授業作り ・ 授業の焦点化 ・ 授業の共有化 ・ 授業の視覚化		
	具体的な改善策（取組）	○グループ学習を取り入れた授業計画を立て、体験的な活動や言語活動によって思考力・判断力・表現力を向上させる ○主体的で対話的な深い学びやコミュニケーション能力の育成を目指した「わかる・できる・楽しい」授業の充実 ○授業の導入や課題設定の工夫、生徒が目的をもって学習に取り組めるような授業の充実 ○自己評価を活用し、自分の変容や成長が確認できる評価活動の工夫と充実 ○話し合いや発表活動を通じての他者を理解することや自分の考え、取組、活動に対して前向きになる授業展開の工夫と充実 ○アウトプットによる基礎的・基本的な知識・技能の確かな習得を目指す		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用 ○学校評価アンケートの活用		